

市街地の低密度化分析

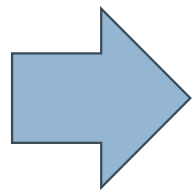


行田市都市計画課

1.目的

行田市の課題

- ・ 人口減少
- ・ 少子高齢化
- ・ 住宅や店舗等の郊外立地
- ・ 空き家の増加
- ・ 市街地の未利用地の増加



市街地の低密度化

今回の目的

現状・将来の市街地の密度について分析し、今後の施策に活かす。

2.分析内容

①人口減少

1977年から2044年までの人口経年変化を可視化する。

②市街化調整区域の開発

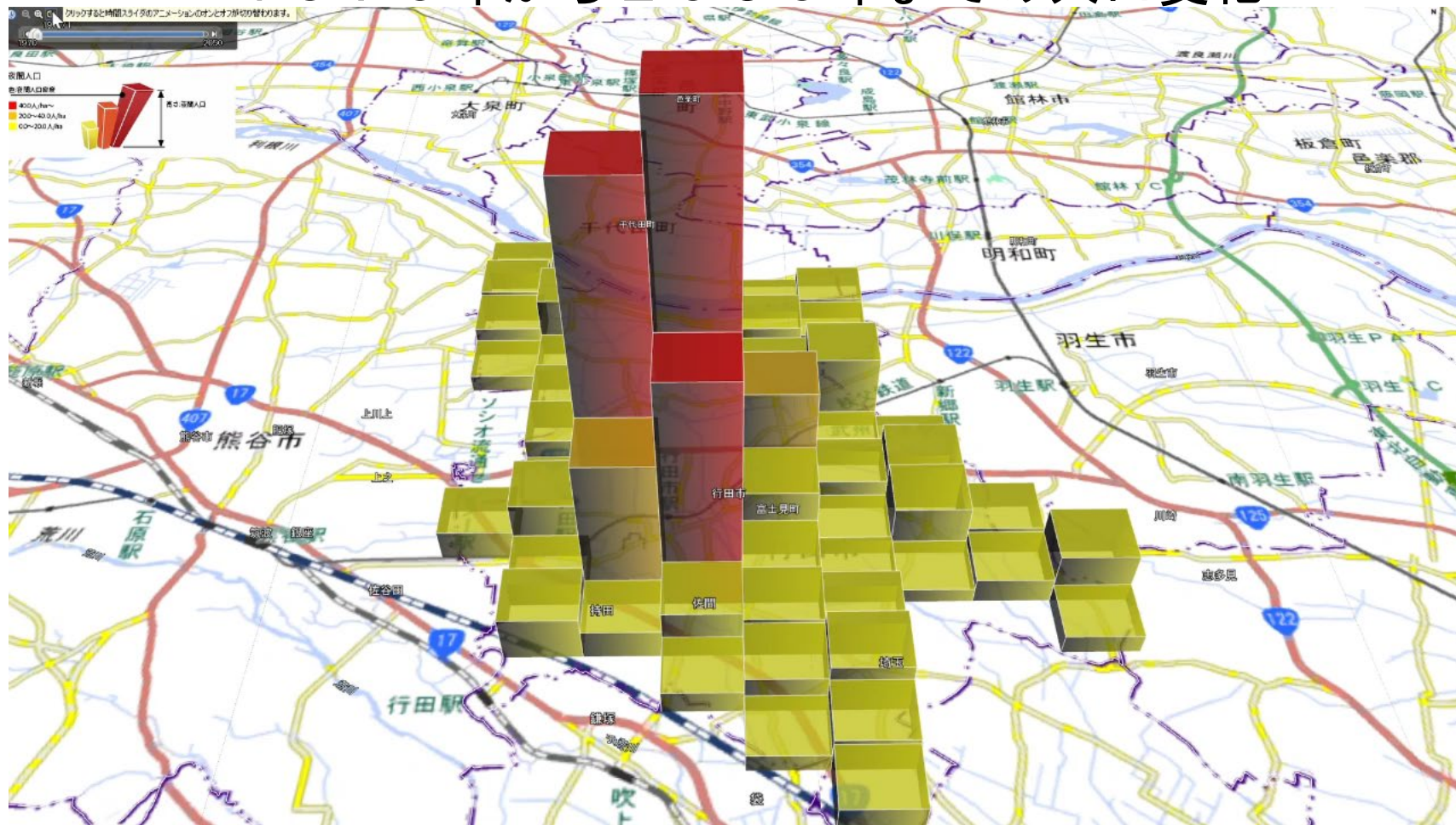
都市計画基礎調査から開発状況を可視化する。

③低未利用地の状況

都市計画基礎調査から低未利用地状況を分析する。

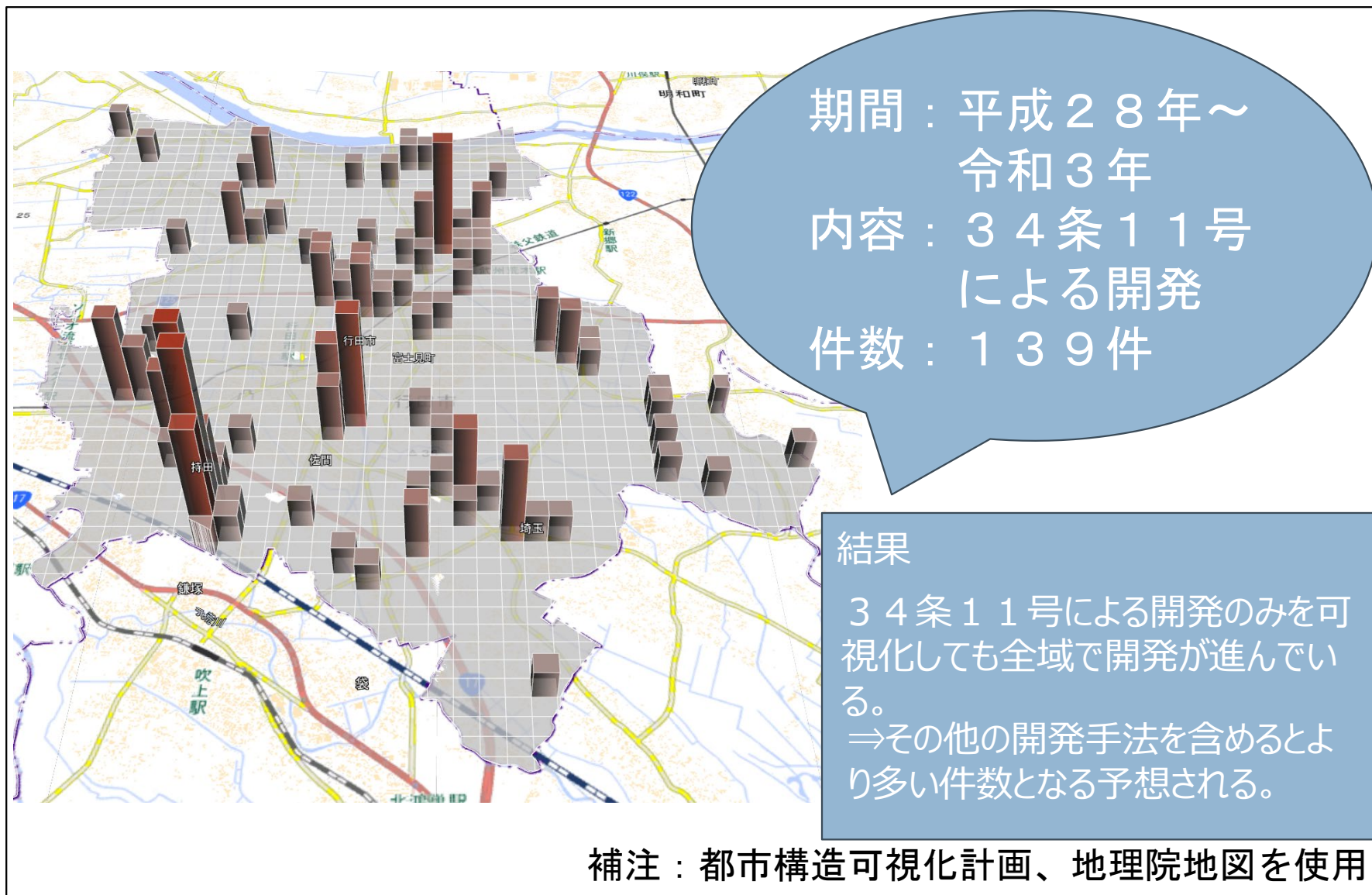
3.人口減少

1970年から2050年までの人口変化



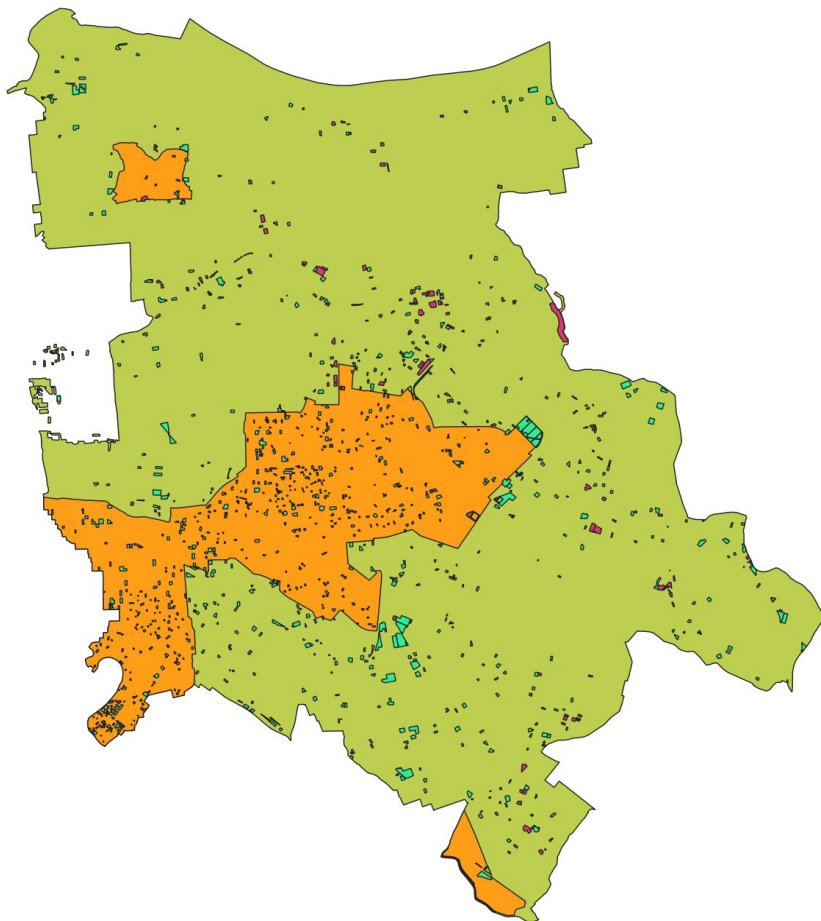
補注：都市構造可視化計画、地理院地図を使用

4.市街化調整区域の開発



5.低未利用地の状況

令和2年低未利用地状況図



①市街化区域内外問わず点在

②面積が増加している

1 3 0 . 3 6 ha (平成27年)



1 5 8 . 4 ha (令和2年)

③市街化区域内では**駐車場**が多く、市街化調整区域では**太陽光発電**が多い

6.まとめ

結論

- ・ 20年後は市内全域で市街化区域設定基準の40人/haを下回ると予測。
- ・ 市街化区域内に低未利用地が点在しており、増加傾向。
- ・ 郊外での開発が進んでいる。

今後

市街地の低密度化を防止するため、現在、立地適正化計画を策定中。

立地適正化計画の運用を通じて市街地における都市機能と人口密度の維持を図るとともに、開発許可制度の適切な運用及び点在する市街化区域内の低未利用地の利活用について検討していく。



42種類約12万株の花蓮が咲く
“古代蓮の里”



2023年「翔んで埼玉～琵琶
湖より愛をこめて～」



映画「のぼうの城」の舞台
“忍城址”



行田フライ



行田ゼリーフライ



金錯銘鉄剣
(国宝指定)